

第4学年 総合的な学習の時間（わかばタイム）学習指導案

場 所 4年3組教室
児 童 男20名 女17名 計37名
指導者 野 月 一 隼

1 単元名

「いいね！」いっぱい 盛岡広め隊

2 児童について

児童は、学習への意欲関心が高く、新しいことへも興味をもって取り組むことができる。3年生の総合的な学習の時間や社会科の学習では、体験を通して知らなかった場所や人、事物を詳しく知ることにより、身近な地域への興味や関心は高まってきている。昨年の総合的な学習の時間では、緑が丘の地域の場所や暮らす人について調査したことを絵や図、文章などでまとめ、学級の友達や保護者に発信する活動を行った。その中で、児童の課題意識に沿った体験活動を取り入れることで、五感を使って情報を収集することができた。また、整理した情報を可視化することで、自分と友達との考えを比較したり、情報と考えを関連付けたりすることを意識することができるようになってきた。さらに、人と人、人と地域との関わり方について関心をもち、自分も地域の一員であることを自覚することができた。しかし、収集した情報について、自分の思いや考えをうまく表現することに課題が見られる児童がいる。また、友達との話し合いでは、他の考えからよさを見つけたり、自分との違いを比べたりすることが十分にできない児童も見られた。

そこで、課題意識をもち続けながら「ひと・もの・こと」と関わり合い、調べた情報を基に根拠をもって自分の考えを確かなものにしていく必要があると考える。また、話し合いの視点を基に友達の考えからよさを見つけ、自分の考えを深めることができるようにしていく必要があると考える。

3 単元の指導構想

(1) 単元について

今年度の総合的な学習の時間は、盛岡を学習材として探究活動を行う。盛岡市は、市内中心部を流れる中津川など豊かな自然や、城跡、赤レンガ館といった歴史ある史跡、南部鉄器や紫紺染などの伝統産業、南部せんべい、盛岡三大麺をはじめとする食文化など多様な魅力が溢れる地域である。それらに触れ、自分たちの知らない魅力がまだまだたくさんあることにも気付くことで、興味をもって学習を進めるとともに、盛岡の魅力や伝統文化を守り続けている方々との関わりが生まれると考える。さらに、その良さに気付くことで、子どもたちは、日頃よりそれらとのつながりや関わりをもって生活していることを実感し、盛岡への愛着を深めるとともに、盛岡のことを社会に広めていきたいという意欲をもてるような学習材であると考え。

(2) 指導にあたって

児童の深い学びの姿を次のように捉え、その実現に向けて、以下のような手立てをとる。

<育てたい資質・能力>

- 盛岡の魅力調査の過程において、地域で働く方々や事物との関わりから、地域を活性化するための工夫や技があることや、それらが自分のくらしとつながりや関わりがあることに気付くことができる。【知・技】
- 盛岡の様々な施設や人々と繰り返し発展的に関わることを通して、自分とのつながりを考えることができる。【思・判・表】
- 盛岡の「ひと・もの・こと」の価値を認め、それらと進んで関わり合いながら、自分の学びや生活に生かしていこうとしている。【学】

<深い学びの姿>

- 盛岡について調査し発信することで、地域の魅力や伝統文化を守り続けている人との関わりを深め、地域への愛着を自覚するとともに地域を大切にしようとする姿

視点1 深い学びを実現する単元構成

- 盛岡の「ひと・もの・こと」の魅力に長けている方から話を聞き、実生活からの興味を基に学習材を選定することにより、子どもの課題意識に基づいた活動ができるようにする。

- 学習材と繰り返し関わるように単元を構成することで、子どもの課題意識が連続し、身に付けた知識や能力を活用・発揮できるようにする。
- 活動の区切りや小単元末に、これまでの活動について話し合うことで、情報を結びつけたり、対象と自分との関わりを自覚したりし、自分の考えを再構成できるようにする。

視点2 問題解決的な学習展開の充実

(1) 主体的な学びを促す手立て

- ・ 掲示資料や体験活動、人との出会いを工夫することにより、課題意識をもつことができるようにする。(主①)
- ・ 前時の振り返りで共有した子どもの課題意識を基に、「何をしていくのか」「問題を解決するためにはどうしたらよいのか」を話し合い、可視化することで、見通しをもつことができるようにする。(主②)
- ・ 整理・分析したものの情報を共有し、価値付けをすることで、課題を解決する力が高まったことを自覚することができるようにする。(主③)

(2) 対話的な学びを促す手立て

- ・ 探究を基に整理・分析したり、話し合ったりする視点を設定することで、盛岡の魅力についての考えを深めることができるようにする。(対①)
- ・ 自分と友達の考えを可視化し、構造的に整理することで、比較したり分析したりして考えることができるようにする。(対②)
- ・ 事実と考えをつなげる発問や考えを比較・分類する発問をすることで、自分の考えを再構成できるようにする。(対③)

4 単元の指導計画

(1) 目標

盛岡のよさを調査する活動を通して、自分たちが生活している地域には様々な魅力があり、それらに携わってきた人々とその思いを知って、それらに愛着を深めるとともに、盛岡に生きる一人として誇りをもって生活することができる。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 盛岡の「ひと・もの・こと」を実感し、地域のために様々な工夫や努力をしていることに気付いている。	① 盛岡のよさや魅力を伝えたいという課題意識を基に学習計画を立てている。	① 自分が選択した盛岡の魅力について「ひと・もの・こと」と交流をもちながら、見通しをもって調査をしている。
② 様々な「ひと・もの・こと」と自分たちの生活との関わりに気付いている。	② インターネットや図書資料、見学やインタビュー等の調査活動によって盛岡の「ひと・こと・もの」の情報を収集している。	② 様々な「ひと・もの・こと」との交流を通して、社会での生活に生かそうとしている。
	③ 収集した情報を比較したり、関連付けたりしながら、魅力について自分の考えを整理している。	
	④ 収集した情報をもとに、盛岡の魅力が伝わるようにまとめ・表現している。	

(3) 指導計画 (全70時間 本時21/70)

小単元	段階	○主な学習活動	☆教師の支援	◇評価規準 (評価方法)
オリエンテーション (1時間)	課題の設定1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">児童の課題</div> <p>○ 盛岡ブランドについて知り、どんな目的で1年間の総合を学んでいくのか話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">盛岡のよさって何だろう。</div>	<p>☆ 市役所の方から盛岡ブランドについての話を聞く機会を設定することにより、盛岡の魅力を発進していきたいという思いをもつことができるようにする。(主①)</p> <p>◇ 盛岡の魅力をまとめた「盛岡ブランド」があることを知り、街と人との関わりに気付き、課題を設定することができる。【思①→ノート】</p>	

第1小単元（24時間）盛岡「いいね！」見つけ隊	情報 の 収 集 16	<ul style="list-style-type: none"> ○ インターネットやパンフレット、家族へのインタビュー等で、盛岡の魅力について調べる。 ○ 盛岡ブランドを中心とした魅力のいくつかを実際に見学したり、詳しい方にインタビューをしたりする。 ○ 調査したことをまとめ、学級で情報を共有するとともに、盛岡の魅力について自分たちなりの概念をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">盛岡のいろいろな「ひと・もの・こと」を知り、みりよくをさぐる。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 調査や見学を通して分かったことを学級で紹介することにより、盛岡の魅力とはどんなものか、自分なりの考えをもつことができるようにする。（対①） ◇ 盛岡について知りたいという課題意識をもち、インターネットやパンフレットを使ったり、見学やインタビューを通したりして、必要な情報を収集することができる。【思②→観察・ノート】 ◇ 見学やインタビューを通して、地域のために、様々な人が工夫や努力をしていることに気付くことができる。【知①→観察・ノート】 ◇ 学級の友達に情報を分かりやすくまとめ、紹介している。【思④→発表資料】
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 盛岡の魅力に関わるアンケートを作成し、盛岡駅を利用する人に認知度やそれぞれのよさについての調査を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">盛岡のどんなものが知られているのか、大切にされているのかを調べよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 市内外の多くの人と関わることで、盛岡の魅力についてそれぞれの感じ方の共通点や違いに気付き、より多くの人に伝えたいという課題意識をもつことができるようにする。（主①） ◇ より多くの人と関わり、盛岡の魅力の認知度について調べようとアンケート調査している。【態①→観察】
	整理・ 分析 6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 結果から分かったことを世代別、男女別、出身別など項目を分けて整理・分析する。 ○ 調査結果を交流し、その結果を基に、誰に何を発信するか考える。（本時） ○ 話し合っただけの中から自分の調査対象を選択し、グループ分けを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分たちが伝えたい盛岡『いいね!』を決めよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 調査結果をグラフに表して整理することで、比較したり分析したりして考えられるようにする。（対②） ☆ 資料や自分たちの調査活動の結果と考えのつながりを可視化し、理由を問うことで、根拠をもって考えることができるようにする。（対③） ◇ アンケート調査をまとめたグラフ資料を基に、誰に何を発信していきたいのかを考えることができる。【思③→発言・ノート】
課題 の設定 2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査対象ごとに、知りたいことや聞きたいことを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分の選んだ盛岡『いいね!』について、見たい・聞きたい・知りたいことを考えよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 伝えたいという思いを基に、何を調べるのかを話し合い可視化することで、見通しをもつことができるようにする。（主②） ◇ 調査対象について、何が魅力なのかを調べるための見通しをもって計画を立てようとしている。【態→①観察】 	
<p>第2小単元（35時間） 盛岡「いいね！」調べ隊</p> <p>自分たちが選択した「ひと・もの・こと」の所へグループごとに取材に出かけ、必要な情報を収集する。取材を通して起こった新たな課題については、電話やメール、更なる現地取材等を行って情報を確かなものにしていく。集めた情報を基に、目的や条件、発信対象に合わせた発信方法を話し合っただけで決める。</p>			
<p>第3小単元（10時間） 盛岡「いいね！」広め隊</p> <p>盛岡駅など多くの人が集まる場所へ出かけ、まとめたものを発信していく。盛岡市内外どちらの方が聞いても新たな魅力を発見できるよう、発信方法を吟味する。発信後、盛岡の魅力について深まったこと、自分の生活とのつながりや関わりについて感じたことを振り返る。</p>			

5 本時の指導計画

(1) 目標

アンケート調査をまとめたグラフ資料を基に、誰に何を発信していきたいのかを考えることができる。

【思・判・表】

(2) 評価規準

おおむね満足	努力を要する児童への支援
調査結果をまとめたグラフを基に、認知度の高さや魅力の多さなどを根拠として、盛岡の魅力の中からどれを選択し、どのような人に向けて発信するか、理由付けて考えている。	アンケート結果に着目するように促すことで、盛岡の魅力の中からどれをどのような人に発信するかを具体的に考えることができるようにする。

(3) 展開

(主) 主体的な学びを促す手立て・(対) 対話的な学びを促す手立て

段階	予想される学習活動と子どもの考え	教師の支援 (◇評価)	資料等
導入 (3分)	<p>1 前時までを振り返り、活動の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>《子どもの思い》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市外や県外の人にも、盛岡のよさを伝えたい。 ・ 市外の人にはどれを知っていて、どれを知らないのかな。 ・ 盛岡の人は何を広めたいのだろう。 ・ どれを紹介していくのかを決めたいな。 </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>アンケートをもとに、どれを盛岡『いいね!』として発信していきたいのかを考えよう。</p> </div>	<p>前時の振り返りを取り上げることで、思いを共有し活動の見通しをもつことができるようにする (主)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 壁面掲示
展開 (35分)	<p>2 アンケート調査の結果を全体交流する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>総数のグラフから分かったことは、さんさおどりは、市外・県外の人が多く知っているということです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>市内の人に向けたアンケートグラフから、南部鉄器をもっと広めたいと思っていることが分かりました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>男女別のグラフを見ると、南部しぼりのことを、男の人はほとんど知らないということが分かりました。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>年代別のグラフを見ると、福田パンは、若い人からお年寄りまで幅広く知られていると分かりました。</p> </div> </div> <p>3 これから調査し、広めていきたい盛岡の魅力を個人で考え、全体で話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>若い人たちにおしゃれな南部鉄器があることを伝えたい。わけは、県外の若い人があまり知らないことが分かったから。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>南部せんべいをもっと知らせたい。どの年代にも人気だから、おみやげに買って帰っていて、他の人にも広めてほしいから。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>三大麺を知らせたい。3つ全部を食べたことのある人はあまりいないことが分かったから。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>盛岡漆器を知らせたい。私たちも知らなかったし、市外の人にはほとんど知らなかったから。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラフの項目や数値だけでなく、インタビューを通して分かったことも付け加えて話すように促すことで、市内外の方々の思いを捉えられることができるようにする。 ・ グラフが何の結果を表しているのかを意識して聞くように促すことで、男女ごとや年代ごとの認知度の傾向を捉えやすくする。 ・ 机間指導の際に、盛岡に対する児童の思いの掲示に着目するように促すことで、発信したいものを考えることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>資料や自分たちの調査活動の結果と考えのつながりを可視化し、理由を問うことで、根拠をもって考えることができるようにする。 (対)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート結果のグラフや表 ・ 壁面掲示 ・ ワークシート
まとめ (7分)	<p>5 本時の学習を振り返り、今後の活動を考える。</p> <p>【振り返りの視点】</p> <p>①活動から学んだこと、話し合いを通して気付いたこと。 ②これからやりたいこと、考えたいこと。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>グラフを見て、思っていた以上にチャグチャグ馬コのことを知らない人がいることが分かりました。盛岡にはさんさおどりだけでなく、チャグチャグ馬コのように昔から続いているお祭りが他にもあることを知らせたいです。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の振り返りを把握し、意図的に指名して思いを共有することで、次時の方向性を明らかにする。 <p>◇盛岡の魅力として紹介したい「ひと・もの・こと」の中から、資料や話し合いを基に誰に何を発信するか考えている。【発言・ノート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノート

